

BS 部門、VS 部門の進級課程・課目の改定について(改定のポイント)

2024 年 1 月 20 日

プログラム委員会

1. 現状の課題

2020 年に実施された「BS・VS 部門プログラム実証の取り組み」においても、当時のプログラム委員会は『**プログラム面については、年齢に沿ったニーズや能力(体力・知識・経験等)に合わせた活動の展開を前提とするスカウト教育において、BS 部門と VS 部門を 1 部門としてプログラムを展開することのメリットを十分に見出すことができなかった。**』(BS・VS 部門プログラム実証の取り組み：2021 年 1 月 17 日 日本連盟プログラム委員会 2020 年度全国県連盟コミッショナー会議(第 3 回)資料)と結論づけた。

同報告では「しかしながら、シームレス化された進歩制度を通して、BS 部門と VS 部門の活動を関連付けて生まれる効果(習得したスキルの応用による活動意欲の累進、後輩への指導によるリーダーシップの発揮)は期待されると考察される。」としているが、部門の活動目標とプログラムの見直しや運用の一体化がなされず、“進級課程のみが一体化”となっている現状の教育的な効果や問題点などについて、全国県コミッショナー会議で議論する必要性があるのではないかと。また、現在の進歩・進級の考え方は、“すべての年代の青年に開かれているはずのスカウティングが、事実上ボーイスカウト年代の初期から参加することを前提としているのではないだろうか”などと総コミッショナーから示唆があり、2022 年度の全国県コミッショナー会議にて議論することとなった。

2. 全国県コミッショナー会議での議論と結論

2022 年度の全国県コミッショナー会議(第 2 回)での県コミッショナー同士の議論の後、各県の意見を集約した第 3 回の全国県コミッショナー会議において、「必要となるスカウトスキルは維持しつつ、BS 部門と VS 部門の進級課程について、各部門での進級の取り組みとなるよう見直しを行う。」との結論に達した。

3. 作業チームの設置と検討内容

上記の結論を受けて、各ブロックから 1 人ずつ選出された県コミッショナーとプログラム委員による作業チームを編成し、2023 年 1 月から、具体的な検討を実施した。

(1) 部門ごとの進級課程・課目に向けた切り離しを優先

進級課程・課目は青少年プログラムへのスカウト自身の取り組みを促進し、個人の成長をより効果的に促すためのものであり、青少年プログラムの意図と内容を十分に反映したものであることが必要である。今回の作業においては現行の BS・VS 部門間でシームレス化されている内容を切り離して、それぞれ部門での進級課程の取り組みになるようにすることを優先した。

なお青少年プログラムの抜本的な見直しは、2024 年度以降の作業とは別にタスクチームを編成して実施する。

(2) BS 部門の進級課程・課目の見直し方針と内容

県コミッショナー会議等での意見を参考にしつつ、各級に求められるスカウトスキル等を厳選し、主に 2 級章及び 1 級の項目のシンプル化を図った。

- ・ BS 部門の進級課程は初級～菊までとした。
- ・ 防災と環境保全等に関する内容を盛り込んだ。
- ・ 多様なスカウトの現状に合わせて、1 級・菊の取得に必須とする技能章を見直した。

(3) VS 部門の進級課程の見直し方針

VS からこの運動に参加する青少年が VS の活動への取り組みを効果的に促進できるような仕組みを導入する。

合わせて BS から上進するスカウトにとっても BS での活動とその結果(取得した技能章など)が VS での活動や進級に活かせる仕組みとする。

- ・ VS 部門の活動目標達成に向けて、プロジェクト法などのプログラム展開を促進・強化することを意図して見直す。
- ・ VS の入隊要件の見直しとアドベンチャーバッジの着用を追加した。
- ・ VS の進級課程はベンチャー章～隼～富士とした。

4. 移行スケジュール

- ・ 2024 年 4 月施行
- ・ 2024 年 3 月末時点で挑戦している進級課目については、4 月以降新課程・旧課程を選択し、選択した課程で取り組みを継続
- ・ 2024 年 4 月以降の上進・進級者は新課程にて次の級に取り組む

以上